

予算常任委員会報告

9月14日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和5年度能勢町一般会計補正予算(第3号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

討論はなく採決の結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。主な質疑内容は次のとおりです。

問 のせ保育所の給食調理業務外部委託の経緯と、本町での供給体制の構築について問う。

答 正規職員が定年退職になるため、給食調理業務の安定的な継続及び、人材確保の観点から、民間事業者への委託に至った。
供給体制については、基本的に食材の発注は、本町が行う。物価・食材高騰の影響は問題ないと考えてる。

問 里山活力創造推進事業負担金の事業内容について問う。

答 本年度から豊中市の森林環境譲与税を活用し、森林整備の一部を、一緒に行う事業である。
大阪府森林組合豊能支店が、すでに取り組んでいる広葉樹林の再生事業に、豊中市が加わる形になる。令和5年度は、天王地区の東山で予定している。

問 測量設計等業務委託料について、野間出野の火葬場、野間出野・下田の農機具倉庫、及び児童館4館の解体の経緯と今後の活用を問う。

答 老朽化及び未使用であることから、地元からの要望を受け、解体の測量設計予算を計上した。
設計業務を年末までに終え、令和6年度から解体を進める予定である。
解体後の跡地利用については、火葬場と野間出野の農業用倉庫は、地元で活用する。下田の農業用倉庫は町所有地だが、地元と調整していく。
児童館2カ所は、町有地ではないが、整備の内容、管理方法は地元と話し合い、今後地元の意向に沿った形で管理する。

問 新規就農者育成総合対策事業補助金の期間と、対象者への周知についてを問う。

答 国の100%補助事業で、営農開始日が起算日で審査され、2年間の事業対象となる。周知については、比較的規模の大きな農園を経営しているところは、大阪府北部農と緑の総合事務所からも、適宜情報提供している。資金計画についても、意欲のある方々の支援ができるよう情報提供に努める。

総務民生常任委員会報告

委員長 井上加奈子

7月 4日 開催

委員懇談会

移住者アンケートの調査内容について、今後どのようなアプローチが必要かを議論した。アンケート結果から抽出した課題について委員会を開催し、どのような事業で対応しているのかについて、進ちょくと合わせて状況を確認することになった。

7月18日 開催

総務民生常任委員会

抽出した課題の中で最も多く意見を寄せられた「地域の移動」～交通問題～についてを議題として委員会を開催した。総務部より「妙見口能勢線の路線バスの廃止と代替方策」についての説明を受け、議論した。
今後も各課題について協議、調査を継続していく。